

# 工学部再編・情報学部新設

## 未来社会(Society 5.0)を切り拓く、革新的な学びが始動します。

現代社会は、サイバー空間とフィジカル空間が高度に融合した「Society 5.0」へと移行しつつあります。この変化に対応し、より複雑化する社会課題を解決するため、山口大学はこれまでの工学部7学科体制を抜本的に見直します。情報技術の深化を目指す「情報学部」の新設と、専門性と分野横断的な学びを両立する「工学部」の再編を実施し、より柔軟で実践的な教育環境のもと、未来の社会に応える人材を育成します。

## 文理の壁を越え、Society 5.0時代を牽引する「人に強い」先端IT人材へ —— 2026年4月、情報学部が誕生

2026年4月、これまでの工学部「知能情報工学科」を発展・独立させ、入学定員を120名に拡大した「情報学部(1学科4コース)」を新設します。最大の長は、従来の開発技術者養成を中心とした枠組みを超え、高い専門性の「深さ」と、多様な分野と融合できる情報学の「広さ」を両立した点にあります。これにより、Society 5.0時代に求められる倫理観・社会性・複眼的視野を備え、人に寄り添った価値創造ができる先端IT人材を育成します。

### 情報学部の特徴

#### 01 「深さ」と「広さ」を両立

情報専門技術の深い知識と、複数分野にまたがる横断的な学びを組み合わせた教育体制

#### 02 4つの専門領域を基盤に、コースごとの専門性を深める学び

コース毎にカリキュラムを示し、各分野のスペシャリストになるための教育体制を構築

#### 03 人間中心の価値想像力を育成

技術だけでなく倫理観・社会性・複眼的視点を備えた“人に強いIT人材”を目指す。

#### 04 多様な進路に対応

AI、xR、空間情報、システム開発、データ分析、UI/UX設計など、先端技術を活かす多様な業界へ幅広い進路に対応できる力を養成

カリキュラムは、1、2年次で情報学の基盤を体系的に幅広く学んだ後、2年次後期から4つの専門コースに分かれます。

安心・安全なITインフラを支える「情報システムコース」、膨大なデータから未来を予測する「人工知能コース」、衛星データ等の空間情報を活用して地域課題の可視化に挑む、本学独自の「ジオ・インテリジェンスコース」、人に心地よいデジタル体験を設計する「人間情報学コース」の4分野で、深い専門知識を身に付けます。

さらに、多様な人材を受け入れるため、文系・理系問わず受験可能な独自の入試制度を導入します。入学時の試験区分(文系型・理系型)によるコース選択の制限はなく、数学III未履修者への補講サポート体制も整っているため、文系出身者でも安心してITのスペシャリストを目指すことができる環境です。

### 情報システムコース

ネットサービスや業務システムを設計・運用するための基礎から実践までを学びます。防災アプリや学校管理システムなど、暮らしを支える安心・安全なITインフラを作る力を身につけます。



### 人工知能コース

データ分析やAIの仕組みを学び、画像認識や予測などの技術を実装できる力を養います。病気の診断支援や渋滞予測など、人の判断を助けるAI技術で、企業や行政の意思決定にも貢献します。



### ジオ・インテリジェンスコース

地図や衛星データを使って、災害リスクや人の動きなどを分析・可視化する技術を学びます。地域防災や都市計画、環境対策など、空間情報を活用して社会課題の見える化に貢献します。



### 人間情報学コース

VRやUI/UXなど、人の感じ方や使いやすさに配慮したデジタル体験の設計を学びます。医療・教育アプリやリハビリ支援など、誰にとってもやさしいITサービスの実現を目指します。



# 専門性と俯瞰的視野を併せ持つエンジニアへ ——工学部が「2学科12コース」に

Society 5.0やSDGsなど、現代の複雑な社会課題を解決するには、単一の専門知識だけでなく、複数分野を横断する「俯瞰的視野」が不可欠です。そこで山口大学工学部は、これまでの縦割りの7学科体制から情報系分野を独立させ、2026年4月より「創成工学科」と「建築学科」の2学科12コース体制へと抜本的な再編を行います。

令和7年度		令和8年度		
学 科		学 科	系	コ ー ス
機械工学科	[定員90名]	創成工学科 [定員355名]	機械系 [目安定員90名]	航空宇宙エネルギーコース
社会建設工学科	[定員80名]			知能機械デザインコース
循環環境工学科	[定員55名]			メディカルデバイスコース
応用化学科	[定員90名]		国土・環境デザイン系 [目安定員80名]	社会基盤コース
電気電子工学科	[定員80名]		化学系 [目安定員105名]	環境・防災コース
感性デザイン工学科	[定員55名]			エネルギー創成コース
				創薬・バイオコース
			電気電子系 [目安定員80名]	環境・プロセスデザインコース
				電子デバイス工学コース
			建築学科 [定員55名]	電子システム工学コース
				建築サイエンスコース
				建築都市デザインコース



## 工学部(再編後)の特徴

### 01 2学科12コース体制

- 創成工学科は1学科4系体制による分野横断的な学びを促進。建築学科は建築分野をより広く深く学修できる
- 各学科にコースを設け、専門分野をより体系化したカリキュラムとすることで、個別最適化された学習を可能に



### 02 実践力を養うカリキュラム

- 課題解決型学習や異分野協働演習を通じて、現実社会の課題を解決する力を養成
- 「自ら課題を見つけ、考え、手を動かして解決する」プロセスを重視した教育スタイル

### 03 地域・社会と連携した研究・教育

- 地域社会や企業との共同研究、フィールドワーク、インターンシップなど実社会とつながる学びを積極的に展開
- 山口県をはじめとした地域課題への貢献にも注力

### 04 持続可能な未来を支えるテーマに対応

- 環境・エネルギー・防災・インフラ・ものづくり・建築など、持続可能な社会を支える工学課題を包括的にカバー
- グリーン社会・カーボンニュートラル・スマートシティなどにも対応した人材教育をめざす

### 05 キャリアにつながる専門力と資格支援

- 国家資格(測量士補、建築士など)への対応科目を多数設置
- 就職支援も充実しており、産業界が求める“即戦力”として活躍できる基礎と応用力を育成

## ■ 分野横断と専門深化を両立する「創成工学科」

機械系、国土・環境デザイン系、化学系、電気電子系の4系で構成します。1年次に各系に所属して基礎を学びますが、2年次進級時に1年次の成績に基づく「転系」が可能な柔軟な制度を設けています。3年次からはさらに細分化された10のコースへ配属され専門性を深めます。また、「異分野展開科目」を通じて他分野の知識も幅広く学ぶことで、複雑な社会課題に俯瞰的視野を持って取り組む能力を養います。

### 機械系

#### 航空宇宙エネルギーコース

航空・宇宙機の運動に関する力学と制御、内燃機関や航空原動機などのエネルギー機械に係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### 知能機械デザインコース

自動車・鉄道・ロボットの設計と製造、メカトロ製品の計測制御などに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### メディカルデバイスコース

生体材料力学、計測工学、ロボット機構学に係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

### 化学系

#### エネルギー創成コース

原子や分子の基本的な性質、物質の状態変化や化学反応に関わる基礎を学び、これらを基に物質・エネルギー変換の専門知識を習得します。

#### 創薬・バイオコース

生体分子、有機合成、無機材料、分析計測技術などの分野の専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### 環境・プロセスデザインコース

物質、エネルギー、環境、化学プロセスなどに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

### 国土・環境デザイン系

#### 社会基盤コース

社会基盤(インフラ)の計画・設計・施工・維持管理などに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### 環境・防災コース

防災・減災および環境保全に関連する専門科目を通し、専門知識を習得します。

### 電気電子系

#### 電子デバイス工学コース

材料物性、先進デバイス、エネルギー制御などに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### 電子システム工学コース

情報通信技術、計測制御技術、電気エネルギーなどに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。



## ■ 文理融合で建築を究める「建築学科」

「建築サイエンス」と「建築都市デザイン」の2コースを設け、人文・社会科学や芸術と理工系を統合した文理融合型の教育を実施します。一級・二級建築士の受験資格取得に対応したカリキュラムが用意されており、学生の興味や進路に合わせて柔軟に履修モデルを選択できます。さらに、理系だけでなく文系型の入試制度を新たに導入し、多様な素養を持つ人材を受け入れます。

### 建築サイエンスコース

材料の特性を考慮した持続可能な建築の構造や環境などに係る専門科目を通し、専門知識と技術を習得。将来は建築構造と建築設備の設計・施工、建築材料開発などの分野での活躍が期待されます。

### 建築都市デザインコース

歴史や文化をいかした建築や都市の計画・デザイン・まちづくりなどに係る専門科目を通し、専門知識と技術を習得。将来は建築設計や都市のデザインマネジメント、空間まちづくりなどの分野での活躍が期待されます。

# 専門性と俯瞰的視野を併せ持つエンジニアへ ——工学部が「2学科12コース」に

Society 5.0やSDGsなど、現代の複雑な社会課題を解決するには、単一の専門知識だけでなく、複数分野を横断する「俯瞰的視野」が不可欠です。そこで山口大学工学部は、これまでの縦割りの7学科体制から情報系分野を独立させ、2026年4月より「創成工学科」と「建築学科」の2学科12コース体制へと抜本的な再編を行います。

令和7年度		令和8年度		
学 科		学 科	系	コ ー ス
機械工学科	[定員90名]	創成工学科 [定員355名]	機械系 [目安定員90名]	航空宇宙エネルギーコース
社会建設工学科	[定員80名]			知能機械デザインコース
循環環境工学科	[定員55名]			メディカルデバイスコース
応用化学科	[定員90名]		国土・環境デザイン系 [目安定員80名]	社会基盤コース
電気電子工学科	[定員80名]		化学系 [目安定員105名]	環境・防災コース
感性デザイン工学科	[定員55名]			エネルギー創成コース
				創薬・バイオコース
			電気電子系 [目安定員80名]	環境・プロセスデザインコース
				電子デバイス工学コース
			建築学科 [定員55名]	電子システム工学コース
				建築サイエンスコース
				建築都市デザインコース



## 工学部(再編後)の特徴

### 01 2学科12コース体制

- ・創成工学科は1学科4系体制による分野横断的な学びを促進。建築学科は建築分野をより広く深く学修できる
- ・各学科にコースを設け、専門分野をより体系化したカリキュラムとすることで、個別最適化された学習を可能に



### 02 実践力を養うカリキュラム

- ・課題解決型学習や異分野協働演習を通じて、現実社会の課題を解決する力を養成
- ・「自ら課題を見つけ、考え、手を動かして解決する」プロセスを重視した教育スタイル

### 03 地域・社会と連携した研究・教育

- ・地域社会や企業との共同研究、フィールドワーク、インターンシップなど実社会とつながる学びを積極的に展開
- ・山口県をはじめとした地域課題への貢献にも注力

### 04 持続可能な未来を支えるテーマに対応

- ・環境・エネルギー・防災・インフラ・ものづくり・建築など、持続可能な社会を支える工学課題を包括的にカバー
- ・グリーン社会・カーボンニュートラル・スマートシティなどにも対応した人材教育をめざす

### 05 キャリアにつながる専門力と資格支援

- ・国家資格(測量士補、建築士など)への対応科目を多数設置
- ・就職支援も充実しており、産業界が求める“即戦力”として活躍できる基礎と応用力を育成

## ■ 分野横断と専門深化を両立する「創成工学科」

機械系、国土・環境デザイン系、化学系、電気電子系の4系で構成します。1年次に各系に所属して基礎を学びますが、2年次進級時に1年次の成績に基づく「転系」が可能な柔軟な制度を設けています。3年次からはさらに細分化された10のコースへ配属され専門性を深めます。また、「異分野展開科目」を通じて他分野の知識も幅広く学ぶことで、複雑な社会課題に俯瞰的視野を持って取り組む能力を養います。

### 機械系

#### 航空宇宙エネルギーコース

航空・宇宙機の運動に関する力学と制御、内燃機関や航空原動機などのエネルギー機械に係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### 知能機械デザインコース

自動車・鉄道・ロボットの設計と製造、メカトロ製品の計測制御などに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### メディカルデバイスコース

生体材料力学、計測工学、ロボット機構学に係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

### 化学系

#### エネルギー創成コース

原子や分子の基本的な性質、物質の状態変化や化学反応に関わる基礎を学び、これらを基に物質・エネルギー変換の専門知識を習得します。

#### 創薬・バイオコース

生体分子、有機合成、無機材料、分析計測技術などの分野の専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### 環境・プロセスデザインコース

物質、エネルギー、環境、化学プロセスなどに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

### 国土・環境デザイン系

#### 社会基盤コース

社会基盤(インフラ)の計画・設計・施工・維持管理などに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### 環境・防災コース

防災・減災および環境保全に関連する専門科目を通し、専門知識を習得します。

### 電気電子系

#### 電子デバイス工学コース

材料物性、先進デバイス、エネルギー制御などに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。

#### 電子システム工学コース

情報通信技術、計測制御技術、電気エネルギーなどに係る専門科目を通し、専門知識を習得します。



## ■ 文理融合で建築を究める「建築学科」

「建築サイエンス」と「建築都市デザイン」の2コースを設け、人文・社会科学や芸術と理工系を統合した文理融合型の教育を実施します。一級・二級建築士の受験資格取得に対応したカリキュラムが用意されており、学生の興味や進路に合わせて柔軟に履修モデルを選択できます。さらに、理系だけでなく文系型の入試制度を新たに導入し、多様な素養を持つ人材を受け入れます。

### 建築サイエンスコース

材料の特性を考慮した持続可能な建築の構造や環境などに係る専門科目を通し、専門知識と技術を習得。将来は建築構造と建築設備の設計・施工、建築材料開発などの分野での活躍が期待されます。

### 建築都市デザインコース

歴史や文化をいかした建築や都市の計画・デザイン・まちづくりなどに係る専門科目を通し、専門知識と技術を習得。将来は建築設計や都市のデザインマネジメント、空間まちづくりなどの分野での活躍が期待されます。